



【いじめをしない させない 見逃さない 白根小】

新潟市立白根小学校 学校だより

白小だより

【白根に生きる子ども～白小を大好きな子 白根を愛する子 白根を考える子～】を目指して！

令和7年7月号

【教育目標】

ゆたかに
かしこく
たくましく

地域が大好き ～白根に生きる子ども～

校長 飯原 清仁

「おはようございます！」と毎朝校門前に立って、子どもたちと朝のあいさつを交わす時間が私はとても好きです。子どもたちの元気なパワーをもらえることが一番なのですが、子どもたちとのあいさつを通してその日の子どもたちの調子も知ることができるからです。最近では、校門脇にある梅の木が実をたくさん付けたり、学校の上空を飛行機がゆっくりと通り過ぎて行ったりと、春から夏へと四季の移り変わりを感じる朝の景色を楽しんでおります。

さて、先月6月には地域の大きなイベントである白根大風合戦が行われました。当校も、4日の子ども大風合戦から始まり、5日の風パレードへの参加、6日から9日までの大風合戦に職員による白小風連として参加しました。子ども風合戦では、南区内の他の小学校も複数参加し、子どもたちは風合戦を通して他校との交流を図る姿も見られました。また、風パレードでは、大風や巻風を持って商店街を歩いたり、6年生による「越後南区大風のまち」のパフォーマンス披露を行ったりと風合戦の盛り上げ役として、立派に地元の小学校としての役割を果たしました。6日の大風合戦では、5年生の子どもたちが総合学習の一環として、4年生の時に作成した巻風3枚を職員の手で、白根の空に揚げることができました。また、7日の大風合戦では、職員が作成してきた巻風が上手く揚がらず壊れてしまったのですが、すぐに地域の方々が声を掛け、すぐそばの土手で修復をしてくださり、その後見事に上空高く「白」の文字の入った巻風を揚げることができました。近くに応援に来ていた児童が「家のお父さんは風づくりが上手いんだよ。先生たちよかったね。」という声を職員に掛けるなど、地域との温かなつながりを感じる大風合戦となりました。



当校では、「白根に生きる子ども～白小を大好きな子 白根を愛する子 白根を考える子～」という子どもたちの目指す姿を設定し、地域とともにある学校づくりの取組を進めています。毎朝の登校時のセーフティボランティアの皆様による子ども見守り活動から始まり、あいさつ運動、読み聞かせ、PTAによる地域のゴミ拾い活動、学校田での田植えや大豆の栽培活動、クラブ活動や総合学習での巻風作成支援、各学年の授業に関する活動ボランティアなど、たくさんの地域の方々に学校の活動にご協力とご支援を頂いております。子どもたちは、学校の枠組みを超え、地域や保護者の皆様方との温かい触れ合いや見守りの中で、学びを安心して広げていくことができます。そして、そのつながりこそが「地域が大好き～白根に生きる子ども～」という目指す姿に近づいていくと思います。

これからも白根小学校は、地域・保護者の皆様のお力を大切にしながら、地域とともにある学校を目指していきます。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

凧パレード 6月5日(木)

4・5・6年生が「凧パレード」に参加しました。白小グラウンドでの4～6年生全員による「越後南区大凧のまち」パフォーマンス発表の後、4・5年生は、巻凧組や校区内の大凧組ののぼりやブラカードを持ったり、大凧運搬のサポートをしたりしました。6年生は、北條医院さん前と土手の統合本部前で、かけ声も勇ましく堂々とカッコよく「越後南区大凧のまち」を披露しました。

白根小創立150周年の記念の年に、新しい伝統を創ろうとリニューアルした【凧パレード】が、白根小の新しい伝統として、パワーアップして引き継がれています！



ヤギとのお別れ会 6月10日(火)

飼育していた山羊の苺ちゃんとマカロンちゃんとお別れ会が行われました。山羊をお貸しいただいていた今井ファームの今井さんと飼育ボランティアの脇田さんをお呼びし、子どもたちにお話をいただきました。また、児童を代表して6年生からお礼の言葉がありました。ファームには12頭の子山羊がいるそうです。親子で里帰りをします。苺ちゃんとマカロンちゃん親子の健康をこれからも祈っています。



いじめ見逃しゼロ集会 6月17日(火)

今回は、3年生以上の各学級目標の紹介が行われました。各学級の目標から、いじめ見逃し0に向けての取組の確認の場となりました。各学級で「わたしも大事、あなたも大事」の気持ちで、学級目標の達成に向けてみんなで力を合わせていきましょう。

